

じゅうぜん通信

[特集] 新病院フロア紹介 「放射線科」



放射線科 MRI装置

[CONTENTS]

- P1 小川理事長 新年のご挨拶
- P2 メディカルコラム「健康寿命の延伸に向けた栄養サポート」
- P3 【特集】新病院フロア紹介「放射線科」
- P5 部署紹介「在宅総合支援センター」
- P6 連携先医療機関のご紹介 - 「宮崎内科病院」様



社会福祉法人 十善会
十善会病院



「じゅうぜん通信」はWEBサイトでもご覧いただけます
<https://juzenkai-hospital.or.jp/>

十善会病院の基本理念

社会福祉法人病院として、地域に密着した医療を行ってきた歴史を守り
「救急から在宅まで」を目標に、患者さんが満足し、職員も満足する
病院づくりを実現することにより地域住民の保健・医療・福祉の向上に貢献する。

無料低額診療事業について

経済的な理由によって、必要な医療を受け
る機会が制限されることのないように、
医療費の免除を行う制度です。

【ご相談窓口】

医療福祉相談室（病院1階受付そば）

時間 月曜日～金曜日 9:00～17:00

※ 受付にお申し出いただくか、お電話でもお受け致します。
相談担当者（ソーシャルワーカー）が面談させていただき、審査致します。

医療費に困ったら…
まずはお気軽に
ご相談ください。



お知らせ

【病院マップ】



交通アクセス

【バスでお越しの場合】

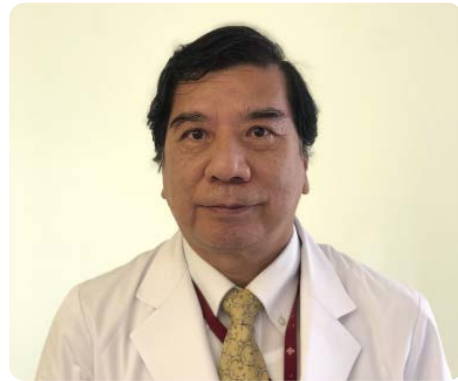
湊町バス停から徒歩1分（100m）

【路面電車でお越しの場合】

茂里町電停から徒歩約11分（800m）

【大波止ターミナルからお越しの場合】

タクシーで約9分（2.7km）



新年のご挨拶

理事長 小川 繁晴

明けましておめでとうございます。新年のお慶びを皆様に申し上げますとともに、旧年中のお力添えに対し深く感謝申し上げます。

十善会病院は昨年6月に籠町から淵町に移転し、7か月が経過しました。診療環境は大きく様変わりしましたが、概ね高評価をいただいているようです。病棟の西側からは稲佐の森の深い緑が、東側からは長崎の街並みが眺望できます。旧病院では長く空調の不備に悩まされていましたが、昨年は猛暑も快適に乗り切りました。外来も明るく開放的で、何より十分な台数の駐車場が喜ばれています。しかしながら一部の患者様には通院の不便さが生じ、申し訳なく思っております。職員にとっても移転は良いことが多いのですが、繁華街が遠くなりました。新型コロナ流行もあいまって、会食の機会は激減しています。職員の肝臓と財布にとってはいいことです。

近隣の診療所からの紹介も徐々に増加し、地域に根付きつつあることを実感いたします。救急室の利便性も改善され、救急搬入症例もやや増加傾向です。関係各位には感謝申し上げます。

昨年の1月には当院は新型コロナのクラスター発生によりほぼすべての診療機能が停止しました。地域への貢献どころか、多大な迷惑をおかけする事態を生じさせてしまいました。今年は新型コロナに関しては小康状態を得ているとはいえ、オミクロン株の動向によっては第6波の可能性も取りざたされています。昨年の轍を踏まぬように職員一同、感染予防に留意して日常業務に当たる所存です。

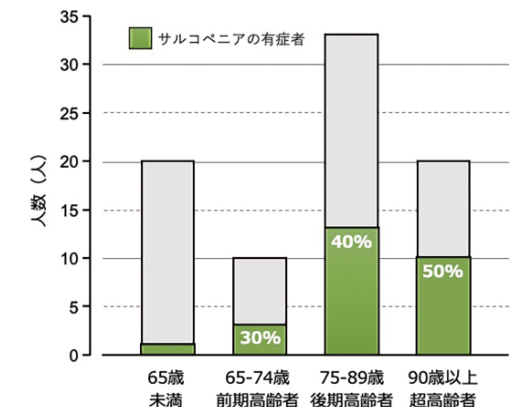
また社会福祉法人の使命である社会的弱者に対しての良質な医療を受ける権利の確保、無料低額診療の提供などを継続してまいります。

本年も引き続き温かいご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

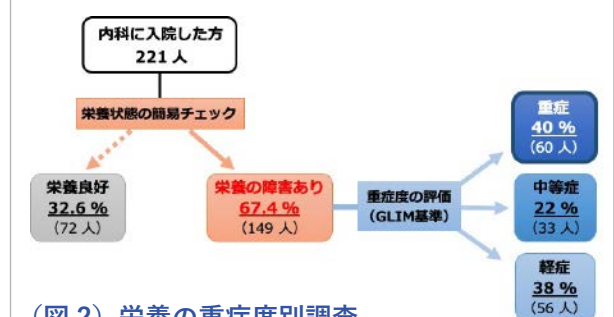
近年、日本人の平均寿命は80歳を上回り、世界でもトップクラスの長寿国となっています。加えて、平均寿命から介護が必要な状態を差し引いた期間（健康寿命）も同様になっていますが、平均寿命と健康寿命には約8年の差があり、この期間を短くすることが一つの課題となっています。健康寿命を長くするためには低栄養の予防が重要とされています。低栄養とは食事量が減り、タンパク質などの栄養が不足することで身体を動かすエネルギーが不足している状態を指します。これは、筋肉にも悪影響をおよぼし、サルコペニアという体内の筋肉が少ない状態になってしまいます。実際に、当院にて腹部CTを実施した患者さんの筋肉量を調査してみると、サルコペニアの有症者の割合は年齢層が高いほど多くなっていました（図1）。

サルコペニアのような筋肉が少ない状態は、病気の回復や日常生活の再獲得に時間を要するため、その早期発見は医療従事者そして患者さんのどちらにとっても重要です。次に、当院の内科に入院された患者さんの栄養状態を調査したところ、67.4%に栄養障害を認めました。さらに、世界的な栄養状態の診断基準（GLIM基準）に合わせて評価すると、栄養障害を認めた患者さんの40%が重度の低栄養となりました（図2）。そして、重度の低栄養状態の患者さんの背景にある特徴を調べてみると、（表1）に示す特徴が見られました。このように、低栄養状態の患者さんには様々な原因があることから、私たちは原因や身体状態を十分に配慮し、適切なサポートを選択する必要があります。

そこで、当院では患者さんの低栄養やサルコペニアを早期に発見するために、入院時から多職種での評価を実施しています（図3）。そして、多職種でのカンファレンスにおいて、その結果をもとに治療方針や介入方法を協議しています。加えて、定期的な評価を繰り返すことで、低栄養やサルコペニアへの治療効果を確認・再考し、チームアプローチを継続しています。このように、十善会病院では、病気やけがの治療に加え、より健康的な体作りをサポートすることで、皆さんの健康寿命の延伸を目指しています。



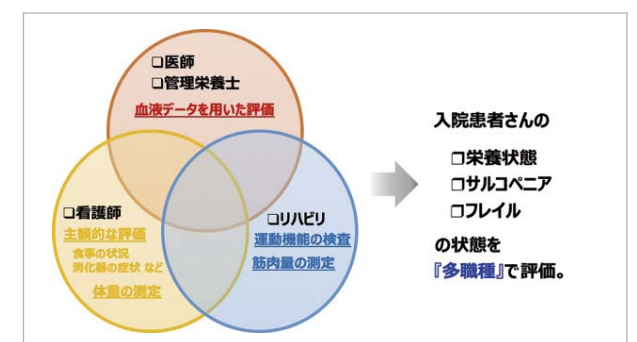
（図1）年代層でみたサルコペニア有症者の割合



（図2）栄養の重症度別調査

- ① 超高齢（90歳以上）
- ② 寝たきり状態
- ③ 食事量が減っている患者
□ 嚥下障害、食欲不振 など
- ④ 消化器の症状が続いている患者
□ 下痢、嘔吐 など
- ⑤ 慢性的に炎症が続いている患者
□ COPD、心不全 など
- ⑥ 一過性に著しい炎症が生じている患者
□ 重症感染症 など

（表1）重度の低栄養患者の特徴（原因）



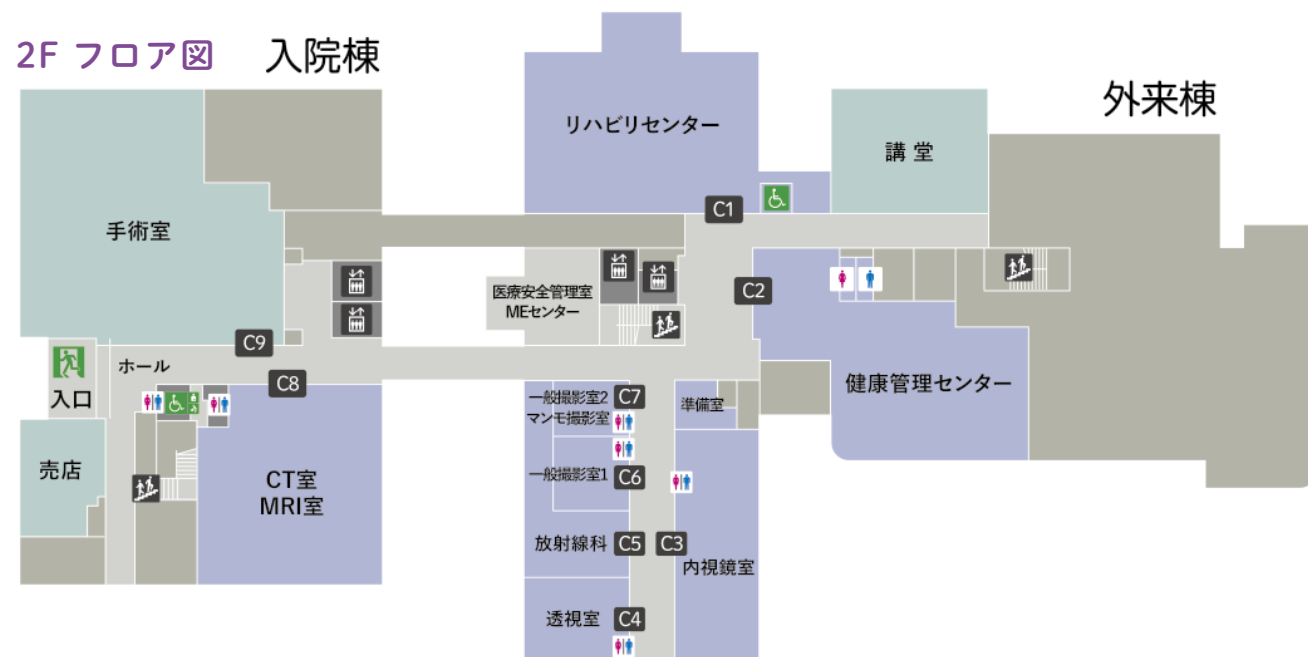
（図3）栄養の多職種評価

新病院フロア紹介 放射線科



今回は、「放射線科」についてご紹介します！

放射線科は2階フロアにあります。外来棟に一般撮影・透視・マンモ撮影室、入院棟にCT・MRI室と分かれて配置しております。新病院移転に際しCT・MRI・一般撮影システム・ポータブル撮影装置・ワークステーションを更新し、院内の検査体制も一層充実しております。



CT 装置



キャノンメディカルシステムズ社 80 列 CT「Aquilion Prime SP」

ガントリ開口径が78cmに拡大し、両腕の挙上難しい方でも無理な体勢をせずに検査を行うことができます。人工知能(AI)による最新の画像再構成技術(AiCE)により、被ばく線量の低減や高い画像ノイズ低減効果が得られ、診断能の高い画像を低線量で撮影することができます。さらに金属アーチファクト低減処理機能(SEMAR)によりCT画像診断の障害となっていた人工関節や義歯など金属置換された撮影部位からの画像ノイズを効果的に除去することも可能となりました。



CT 画像

MRI 装置

シーメンスヘルスケア社「MAGNETOM Altea」

装置の開口径(トンネルの大きさ)が70cmと広くなり、ガントリ長(トンネルの奥行)は157cmと短くなって従来よりも開放感のある検査環境をご提供することができます。従来の装置では検査時に大きな騒音がしていましたが、騒音を抑制する技術により、70%以上低減できるようになりました。また撮像スピードを高速化する技術により検査時間も短縮できるようになり、患者さまから「前よりも楽になった」とうれしいお声をいただいています。



MRI 画像



一般撮影装置(DRシステム)

SHIMADZU RADspeed Pro

富士フィルムメディカル株式会社「CALNEO Smart」

デジタルX線画像診断システムを導入いたしました。従来のCRシステムよりもX線の量を減らすことが可能になり、被ばくの低減に役立っています。またX線ばく射後わずかな時間で画像確認することができるので、患者さまの待ち時間の短縮にもつながっています。



マンモグラフィ

島津製作所「SEPIO STAGE」

乳房専用のX線装置です。しこりとして触れないような早期の病変や、それに伴って発生する石灰化の影を見つけることができるため、早期乳がんの発見に非常に有効です。「検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師」の資格を取得している診療放射線技師が担当しますので、安心して検査を受けて頂けます。

検査予約について

CT 検査、MRI 検査には予約が必要となっています。患者さま個人での検査予約はお受けしておりませんので、当院診療科を受診して頂くか、かかりつけの医療機関の先生方からのご紹介で受付いたします。当日に可能な検査もございますが予約の患者さまを優先とする為、待ち時間が長くなることがありますのでご了承ください。検査当日は、予約時間 20 分前に診療情報提供書、保険証をご持参のうえ外来受付にお越しください。

CT 検査日 月～土(金曜日、土曜日は午前中のみ)

MRI 検査日 月～金(金曜日は午前中のみ)

各種検査オリエンテーション等の書類は病院ホームページよりダウンロード印刷が可能です。各種注意事項のご説明をよろしくお願いいたします。

検査報告

検査所見及び画像データは原則検査後にお渡しできますが、放射線科医が不在の場合は郵送させていただきますのでご了承ください。



部署紹介

在宅総合支援センター

こんにちは。十善会訪問看護ステーションの梶原です。私の所属する在宅総合支援センターを紹介いたします。当センターは、社会福祉法人 十善会病院の併設施設として、平成6年に設立され、今年で27年目となりました。新病院移転と共に、当センターも引っ越しし、新病院1階に配置されています。病院の地域連携室と同フロアにあり、病院ともスムーズに情報交換

させていただいております。当センターには、ケアマネジメントセンターと訪問看護ステーションがあり、ケアマネジャー1名、看護師4名、作業療法士1名、事務員1名が在籍しています。ケアマネジャーは、介護が必要になっても自宅で生活をするために必要なサービスの紹介や利用調整を行い、利用者様の生活の質の向上に貢献します。訪問看護ステーションは、『住み慣れた場所で、その人らしく生きることを支えたい。24時間365日在宅療養を支援します。』をモットーに、利用者様のお宅へ伺い看護を提供しています。

ケアマネ、訪問看護とも、利用者様の体調が変化した時は、夜間や休日でもすぐに対応出来るよう24時間、連絡、相談、訪問出来る体制を整えています。利用者様のご紹介は、十善会病院からはもちろん、地域の在宅医の先生方や地域包括支援センター、地域の居宅支援事業所からもご紹介いただいております。



ケアマネジャーの内容

- 介護保険申請の代行
- 介護保険サービス調整
- ケアプランの作成
- サービス利用後の状況確認など

訪問看護の内容

- 病状や障害の観察
異常の早期発見や再発予防
- 医療的処置の実施
薬の管理 ストマケア
留置カテーテルの管理
傷や褥瘡の管理
- 療養相談・指導

- 日常生活の支援
食事、排泄の援助
体の清潔の援助
(清掃や入浴の介助)
- リハビリテーション
- 介護相談
認知症含む、ご家族の
介護におけるあらゆる相談など

※詳細に関しては病院ホームページにも掲載しておりますので、ご覧ください。



ご利用希望などのご相談は直接お受けいたしますので、お気軽ご連絡ください。

十善会ケアマネジメントセンター

電話番号 095-801-2630 (直通)

十善会訪問看護ステーション

電話番号 095-801-2620 (直通)



ホームページ

連携先医療機関・施設のご紹介

医療法人 宮崎内科医院



院長 宮崎 正信 先生

診療科目 内科・腎臓内科・糖尿病内科

診療時間	月	火	水	木	金	土
【午前】 9:00 ~ 12:00	○	○	○	○	○	○
【午後】 14:00 ~ 18:00	○	○	○		○	

● 木・土曜は9:00 ~ 13:00 ● 休診日：日曜・祝日

Q 病院の特徴を教えてください

当院では、腎臓、糖尿病、透析の専門領域の診療と、地域に根ざした“かかりつけ医”を目指しています。腎臓病では、蛋白尿、血尿といった検尿異常から、腎機能低下、腎不全状態まで、必要に応じて入院施設のある病院と連携しながら、専門性の高い診療に心がけています。透析は腹膜透析といって、在宅で、かつ高齢者に優しい透析を行い、自分でできない患者さんには、訪問看護師、ヘルパーとともに、ご自宅での透析をサポートしています。地域のかかりつけ医としては、高齢者の方々は多くの病気と共に、独居、通院困難といった多くの課題を抱えている方が多いので、地域包括センターや訪問看護ステーションと共に、在宅を希望される方が、その地域で暮らしていけるように、共に考えながら日夜奮闘しています。

Q 地域のかかりつけ医として気に掛けることは？

子供さんが遠く離れたところにおられる方、独居の方、通院が困難な方、様々な悩みや問題を抱えながらの生活を送っておられる方が多いことと思います。当院にあれば、ホッとして何でも相談可能な、かかりつけ医を目指しています。通院ができなくなり、人生の最期を自宅で過ごしたい方のサポートも行っております。

Q 最後に読者の皆さんにメッセージをお願いします。

新しくなった十善会病院は、当院にも近くなりました。緊急の場合、いつでも受け入れを考慮して頂けることは、当院にとって有り難く、それは、この地区の住民の方々にも有り難いことと感謝しています。限りある人生を笑顔で過ごせるよう、お手伝いできればと思います。

住所 〒852-8042 長崎市白鳥町3番12号

電話番号 095-845-0312

アクセス 西町市場前下車徒歩2分
白鳥町前下車徒歩2分

駐車場 有り (5台 / 無料)

